



東日本大震災から学ぶこと

～三遠南信地域における 防災連携の在り方～

浜松市危機管理課



東日本大震災の特徴

広域複合大災害



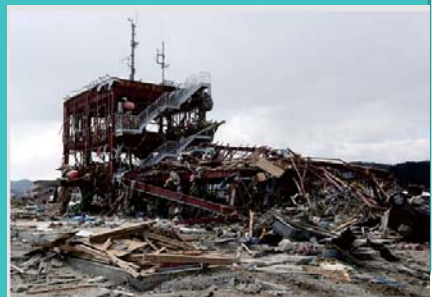
被災地域：東北3県、関東

災害事象：地震・津波・原発

避難地域：全国各地

※死者・行方不明者 19,000人超
避難者 386,739人
(最大値/1週間後)

被災した南三陸町防災庁舎⇒



被災地への支援①

1. 物的支援

全国知事会などからの要請により、備蓄していた物資(非常食や飲料水、仮設トイレなど)のほか、市民や企業の協力のもと必要物資(毛布や自転車、食器類、紙おむつなど)を集め、提供

2. 人的支援

東日本大震災発生当日から緊急消防援助隊を派遣するなど、6月末までに延べ56,923人の自治体職員を派遣

被災地への支援②

3. ボランティアによる支援(9月25日現在)

※災害ボランティアセンターの設置状況と参加延人数

	岩手県	宮城県	福島県
設置状況	24カ所	12カ所	34カ所
延人数	約262,100人	約392,900人	約112,400人



大船渡市内で活動するボランティア

被災者への支援

全国の避難者数

73,249人(9月22日現在)

※全国避難者情報システムに届出されている人数

県	人数
静岡県	1,417人
愛知県	1,260人
長野県	1,169人

被災者に対し、国や日本赤十字社などの支援に加え、**独自の施策を構築している自治体も…!**

被災地・被災者への支援

- 3月22日 「**浜松市被災地支援対策本部会議**」を設置。市公式ホームページ内にも東日本大震災専用ページを用意
- 3月24日 被災地へ「**先遣隊**」を派遣
- 4月 5日 「**東日本大震災 被災地・被災者支援センター**」を開設



第1回被災地支援本部会議の様子



市長の訓示を受ける先遣隊



市役所内に設置された支援センター

三遠南信災害時相互応援協定

(目的)

三遠南信地域内に災害が発生したとき、各都市相互の応援による応急措置等を円滑に遂行するため、必要な事項について定めるもの。

(主な応援内容)

- ・職員の派遣
- ・資機材や物資の提供・貸与
- ・救援物資の提供
- ・被災者の一時受入れ



給水活動の様子(飯田市内)

三遠南信地域のデータ

面積 : 5,733.29 km² (H22.10.1現在)
人口 : 2,089,794人 (H23.1.1現在)



三遠南信地域に見る災害特性



台風15号の爪痕(中山間地域)



台風15号の爪痕(中山間地域)



災害対応における課題



停電・河川氾濫・道路損壊・土砂崩れ・孤立集落の発生

指揮命令の混乱

初動の遅れ



防災対策の見直しについて

浜松市の現状

～東日本大震災以降の取り組み～

(1) 地域防災計画の見直し

- ① 防災施設・資機材などを見直し
- ② 非常配備体制を見直し
- ③ 津波対策を見直し

(2) 区版の「避難行動計画」の策定

(3) オール浜松で対策を検討

今後における防災連携

